



『みんなでボッチャ』実践報告

世田谷区との協働事業として、障害の有無や年齢に関係なく誰もが楽しめるスポーツ「ボッチャ」をととして障害者の余暇活動の充実を目的とした講習会「みんなでボッチャ」を開催しました。区立すまいる梅丘様より会場提供のご協力を得、日本にボッチャを紹介した日本ユニバーサルボッチャ連盟理事長の古賀稔啓様と理事の渡辺美佐子様のお二人にご指導いただき、昨年 7 月から 2 月まで計 8 回実施しました。

毎回楽しくルールを学んだ後は、和やかな雰囲気の中、進行しましたが、競技になると皆さん真剣な眼差しで集中する場面もあり、とても印象的でした。競技を理解し、楽しむだけではなく、何より参加された皆さんが交流を深め合う、有意義な活動となりました。

世田谷区の掲げる「共生社会ホストタウン」として、地域に暮らす方々の心のバリアフリーを実現するための場づくりに、確かな手応えを感じました。

(今回は指導くださったお二人にボッチャについてのインタビューをさせていただきました。内容はソラマの※ホームページでご覧いただけます。) ※<https://www.sorama.org>「活動日誌」の欄



(渡辺様) 参加者の方々の表情がどんどん変わっていくのが嬉しかったです。回りがやらせているというのではなく、「自分ができるよ」と発信できていました。そうした気持ちや態度が、日常生活の中でも生かされているといいですね。特に生まれつき重度の障害のある方達は、自分の意識を完全に表出するという場面が人生の中でないままに生活してきています。ボッチャを通じて、自分の意思を表す、選択するという経験を積めるのは自立にも繋がっていきます。

(古賀様) 各々の能力に合わせた道具や指導法でボッチャを続けていると、技術面だけでなく意欲や集中力といった精神面でも進歩が見られるようになります。準備運動などを通じて上がらなかった手が上がるようになったり、介助者に指示を出すため声が出せるようになったり、また参加者同士の交流を通じて積極的に他の人とコミュニケーションをとるようになったりと、色々な変化が起きてきます。それは、スポーツをするという前向きな姿勢がそうさせるのです。この姿勢は実生活にも生きてきます。今回は、障害のある方だけの練習会ではなく、健常者の方も参加されていたので、いっしょにチームを組んで、応援し合ったり、練習を積んで参加者が変わっていく姿を共有でき、とてもよかったと思います。



(初めてボッチャを体験した地域の方) 一見簡単そうに見えて、奥が深く、楽しめました。策戦の立て方によって一発大逆転ができたりと面白い。パラリンピックのボッチャを見るのが楽しみになりました。

(障害のあるお子さんと親子で参加された方々)
●外出が大好きで、ボッチャ教室のある日は朝からワクワクしています。●先生方から息子の投げやすい方法を丁寧に教えていただきました。息子も上手く投げられるとガッツポーズをして嬉しそうでした。



会員活動便り

ソラマグッズづくり

会員交流の機会として試みに始められた手芸の会で、当法人の事業運営にご協力をいただいた方々への返礼品として、端切れを使ってクルミボタンの作品を作製するアイデアが提案されました。平日の午後、区内の公共施設やソラマの事務所に集まり、クルミボタンを使った髪飾り、マグネット、ブローチ、アームバンドや、提供いただいた布で作ったシュシュなど可愛らしい作品づくりが始まりました。活動中は、参加者の皆様との楽しいおしゃべりとともに当法人に対する質問やアドバイス、新しい気づきを頂ける活発な意見交換も行われ、とても有意義な時間となっています。

完成した作品は、広報活動の一環として参加したイベントなどで、寄付や募金のお礼に差し上げ、大変好評を頂いています。また、この活動を知り、材料の端切れをご寄付くださる方もおり、今後も月 1 回程度開催しながら様々な PR グッズの作成と広報の機会を増やそうと企画しています。詳しい情報をお知りになりたい方は、info@sorama.org (担当速水)までご連絡ください。



会報「ソラマ」発送活動

前回発行した会報第 4 号の発送作業を、会員の皆さんに協力頂きました。会報の折り込み・封入封緘から宛名シールや切手の貼付に至るまで、皆さんの丁寧で手際の良い作業のおかげでたいへん効率よく進みました。ありがとうございました。

第 38 回区民ふれあいフェスタ

障害者に対する理解を促進する障害者週間中のイベントとして、12 月 9 日(日)に世田谷区主催の「第 38 回区民ふれあいフェスタ」が開催されました。昨年に引き続き、ソラマも区役所中庭に出店する 50 あまりの団体のひとつとして、綿あめ販売の模擬店で参加しました。当日は寒さも厳しい中、朝から応援に駆けつけてくれた会員の皆さんの協力により、150 本の綿あめを販売することができました。様々な講演会や公演も開催され、参加した会員の皆さんも一緒に、区内で活動する障害者関連の団体、事業者と交流するよい機会となりました。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。

